

日本の朝鮮支配と中国の近代化

1905年、日本は韓国を保護国にして **外交権** をうばい、
韓国統監府 を置いた。

韓国が単独で他国と
条約を結べない

初代統監 **伊藤博文** が就任。

日本は韓国皇帝を退位させると同時に、組織的な抵抗を防ぐ
ため、軍隊を解散させた。

日本は韓国が近代化すれば保護を解く
つもりでいたのに。(資源もなく併合のメリットなし)

韓国国内で抵抗運動がたかり、日本によって解散させ
られた兵士たちは農民とともに武器をとって、日本の支配
に激しく抵抗する者もいた。

これを **義兵運動** とよんでいる。

伊藤博文は
韓国を支配することに
反対していたのに

1909年、初代統監伊藤博文がハルビン駅で朝鮮人
テロリスト **安重根** に暗殺される事件が起こった。

これにより、国内で併合論が高まると同時に、
大韓帝国政府からも併合の提案がなされた。

日本が列強に「大韓帝国の併合」を打診すると、
これに反対した国は一国もなく、イギリスやアメリカの
新聞は「東アジアの安定のために併合を支持する」との記事
を書いたため。

1910年、**韓国併合** を行った。